

申し込み方法

*メールにて以下の内容
をご連絡ください。

- ①お名前
- ②会員・非会員・院生学生の別
- ③ご所属
- ④ご住所
- ⑤電話番号

*送信時メールのタイトルに
「セミナー申込み」とご入力
ください。

*返信メール（受付確認）
がない場合はお手数ですが
再送ください。

セミナー
申込み・お問合せ：

✉メール（担当野村まで）

ynomura@mail.doshisha.
ac.jp



日本医療社会福祉学会 2017 年度セミナー

「多職種連携のためのリフレクティング —きく、はなす、うつす—」

日にち：2018年3月18日（日）

時間：10時～16時（受付9:30）

場所：同志社大学烏丸キャンパス志高館 112

（烏丸キャンパスは、京都市営地下鉄烏丸線今出川駅①番出口下車、烏丸通を北
進して5分程度のところす）

●講師 矢原隆行氏
（熊本大学大学院社会文化科学研究科教授）

●定員 50名（定員に達し次第締め切りとなります）

●対象 日本医療社会福祉学会会員、非会員

●費用 会員：4000円 非会員：5000円 院生学生：4000円
（当日会場にてお支払いください）

日本医療社会福祉学会

●**セミナー内容**：さまざまな専門職、多様な組織・機関が関わる保健・医療・福祉分野において、連携・協働の重要性はあらためて言うまでもありません。しかし、その重要性を皆が認識しているにもかかわらず、それが決して容易でないことは、繰り返し研究者らによって指摘されていますし、実際にそれぞれの現場でも日々体験されているでしょう。そこには、各職種・組織に固有の歴史や人間観、専門的知識の内容の差異、さらには、福祉や医療の制度とその歴史を通して積み重ねられてきた専門職間のパワーバランスやヒエラルキーをめぐる根の深い問題が存在しています。そうした困難な状況においては、たんに対話を重ねても見解のズレは解消されず、それぞれが自分たちの正しさと相手側の誤りを確信したまま、両者の間の行き違いが隠蔽されてしまうことさえ生じかねません。

リフレクティングは、家族療法の文脈においてノルウェーで誕生した、多様な声を共存させつつ、「はなすことときくことのうつつし込み合い」を通して、異なる視点や価値観を有したグループ間のコミュニケーションに新たな次元を創発することのできる方法です。今回のセミナーでは、その成り立ちと考え方の基本について説明するとともに、その特質を踏まえながら、実際に各々の現場で豊かな会話のスペースを生み出していく方法について参加者の皆さんとともに考えてみたいと思います。

●**プログラム**：

10時～12時：連携の困難とリフレクティングの基本（講義）

12時～13時：昼食休憩

13時～15時：リフレクティング・トーク（ワーク）

15時～16時：ふりかえり



●**講師プロフィール**：矢原隆行氏（熊本大学大学院社会文化科学研究科 教授）

専門は、臨床社会学、社会システム論、リフレクティング・プロセス。現在、日本で初・唯一の交渉紛争解決学の大学院プログラムを提供する熊本大学にて、リフレクティング・プロセスに焦点をおいた研究・教育に取り組んでいます。

主な著書：『リフレクティング：会話についての会話という方法』（2016）ナカニシヤ出版（単著）、『会話・協働・ナラティブ：アンデルセン・アンダーソン・ホワイトのワークショップ』（2015）金剛出版（共訳）、『ナラティブからコミュニケーションへ：リフレクティング・プロセスの実践』（2008）弘文堂（共編著）